

市Pたより「かけはし」

「ジングルベル・♪」「もういくつ寝ると お正月♪」・月日の経つのは早いものですね！ 寒波とともにインフルエンザも今年は早いようです 皆さまお気をつけて。1年間有り難うございました。よい年をお迎えください。

○ 「涙がとまりませんでした・・・」11/29(土)の市P研究会全体講演後のご感想です。さらに、「・・・『食』でこんなにも心が動かされるとは思ってもいませんでした。本日参加できたこと、お話を聞いたことに感謝します。」と結んでおられます。他にも感動・称賛の言葉がたくさん述べられており、読むこちらまで幸せな気持ちになりました。

4つの分科会でも、前号でお知らせのとおり、第1希望がそれぞれの会場の広さとまるで計算したようにぴったりと合致する中、充実した研修がなされたことと存じます。精一杯の相乗りや、フードパルさんにもご協力をいただきましたが、やはり駐車場にはご不便をおかけしました。この点は次年度へ継続課題です。

岡教育長様をはじめとするご来賓の方々、ご参加くださいました先生方95人を含む789人の会員の皆さま方ありがとうございました。そして、計画段階から準備・運営・片付けまで携わられた市P教養委員さん方を中心とする方々、大変お世話になりました。

○ 池田小音楽部のさわやかな歌声が・・・11/22(土) 鶴屋東館パリアホールでは、市P共催の「くまもと教育・文化フォーラム」が開催されました。元市P会長 森徳和氏のご講演をはじめ、画図小PTAの発表もあり、合唱部保護者様を含む52人のPTA会員さん方にご出席いただきました。美術展への出品と併せ、次年度もどうぞご参加ください。(HPに写真提示中)

○ 3学期市P一斉あいさつ運動・・・新年1月7日(水) 3学期始業式朝です。市教委からも教育長様はじめ多くの皆様方が学校に出かけてくださいます。先生方・地域の皆様方とともに子どもたちをお迎えください。冬休み中、市教委からの参加者名をお届けいたします。(学校には冬休み中一覧表を、会長さんには年賀状で)

○ お知らせ・・・どうぞお申し込み・ご参加ください

① 単P助成金申請受付中です・・・PTA主催の研修会を多くの学校でなさっておられることでしょう。その支出の内、1万円を上限とする助成制度です。6/11にお知らせしているのですが、今回周知を図るため、再発行しお届けしました。奮ってお申し込みください。詳細は、お知らせ文書をご覧ください。HPにも掲載中です。～締切 1/16(金)



② 「第35回熊日PTA新聞コンクール」・・・毎年恒例の新聞コンクールです。本市からも毎年多数受賞しておられます。各校チャレンジしてみられませんか！ 募集期間は2/1～2/28です。熊日新聞社に直接どうぞ。

③ 「くまもと家庭教育推進フォーラム」・・・12/14(日) 13:30 パリアホール 表彰・つきでB・Bキッズ演奏・講演「子育てに夢とロマンを」福永宅司氏 主催：熊本県・県教委

④ 「家庭の日」あったか家族コンクール作品募集・・・小中学生の絵日記・写真募集 12/1～1/16 提出は直接学校の先生へ 主催：県くらしの安全推進課・熊本県

⑤ 人権講演会「インターネットとモラル」・・・1/15(木) 14時 国際交流会館ホール 講師：総合ビジ初専門学校教頭 桑崎 剛氏 主催：熊本市・市人権啓発市民協議会

○ 市P協からの質問等への市教委からの回答(その3)

2 確かな学力の向上に関して

⑤ 先生方のさらなる指導力アップのために、どのような研修がなされていますか。

(回答 教育センター)

教育センターでは、キャリアステージに応じた、教師としての基盤、授業や生徒指導などの実践的指導力、マネジメント力をつけることを目的とした経年者研修を行っております。

経年者研修は経験年数に応じた研修で、初任者研修や初任校2年目・3年目研修、10年経験者研修、15年経験者研修、20年経験者研修を実施。特に初任者研修においては、授業力向上に向けて、授業づくりの基礎・基本を研修の核として位置づけて、センターでの研修だけでなく校内での研修も十分行えるよう、拠点校指導教員や校内指導教員を配置しております。

また、センターからは初任者学校訪問を実施し、普段の授業における児童生徒とのかかわりについての把握や、参観した授業について文書指導を行っています。加えて、初任校2年目や3年目にも校内研修で授業研究を中心に行い、それについてセンターでの研修と文書により、授業についての指導を行っており、10年経験者研修では、個々の能力や適性に応じて、授業づくりや生徒指導などの研修を行い、15年経験者研修・20年経験者研修では、学校組織を動かすリーダーという意識をもてるようマネジメント研修を中心に行っているところです。

また、現在は臨時的任用教員も増加し、全ての臨時的任用教員に学校重点経営計画をもとに学校の課題解決に向けて、自分の力を精一杯出すように研修を行っており、

→裏面へ

